

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ ルート運営活動計画

平成 18 年 9 月
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ
ルート運営代表者会議

目次

1.ルート名称	1
2.ルートの位置とエリア	2
(1) ルートの地理的範囲および関係市町村	2
(2) エリアの概要	3
(3) エリアの資源	4
(4) 資源分布図	12
3.ルート運営活動の目標とテーマ	13
(1) 活動の目標	13
(2) テーマ	13
4.ルートストーリー	14
5.ルートの運営体制	17
(1) 活動団体	17
(2) 運営体制	21
(3) 組織構成とその役割	22
(4) 行政との連携	24
6.活動方針と活動内容	25
(1) 活動方針と活動内容	25
(2) 中長期計画	28
(3) 年度計画	29
7.ルート運営活動実績	30
(1) 平成17年度「先行活動期間の取組み」	30
(2) 平成18年度「実践的試行期間の取組み」	41

1.ルート名称

Clear Stream Scenic Byway

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ Clear Stream Scenic Byway

ルートの名称には、代表的な地名を当てました。

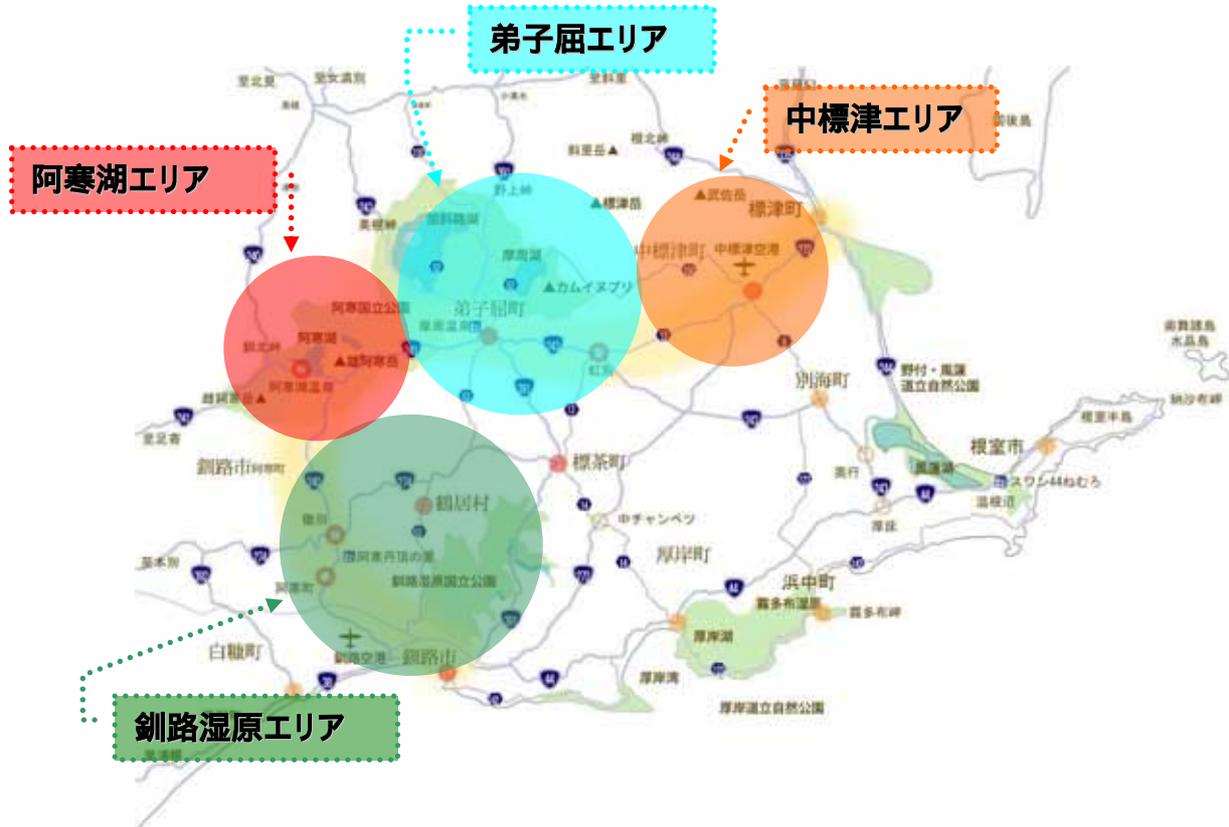
また、英名(愛称)として、活動4地域の共通の自然資源として、道東三湖と謳われる「阿寒湖」「摩周湖」「屈斜路湖」、ラムサール条約湿地の釧路湿原を貫流する釧路川、自然の姿をそのまま残す阿寒川・標津川等の清流河川等があるため、クリアストリーム(clear stream: 清流)としました。



2. ルートの位置とエリア

Clear Stream Scenic Byway

(1) ルートの地理的範囲および関係市町村



東北海道の中央に位置しており、1市4町1村にまたがっています。軸となるルートは釧路空港から中標津空港に至る幹線道路の周辺であり、釧路湿原国立公園や阿寒国立公園をはじめとする自然環境に恵まれた、世界的な観光地を含む地域です。

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイは、4つのエリアで構成されています。

関係市町村 釧路市、標茶町、弟子屈町、中標津町、鶴居村、別海町

主な幹線道路 国道240号、国道241号、国道243号、国道272号、
道道中標津標茶線

エリア 釧路湿原エリア(釧路市、標茶町、鶴居村)
阿寒湖エリア(釧路市阿寒町)
弟子屈エリア(弟子屈町、標茶町)
中標津エリア(中標津町、別海町)

(2) エリアの概要

釧路湿原エリア

わが国、初のラムサール条約登録湿地として知られる釧路湿原を中心に、道東の拠点都市釧路、タンチョウ保護活動の先進地鶴居、湿原アウトドア観光の拠点となっている標茶町から構成されます。釧路川が大きく蛇行しながら流れ、手つかずの自然がそのまま残っている釧路湿原は、東西に約 17km、南北に約 36km、面積は 26,861ha に及び、特に、湿原西側の温根内木道からは野鳥、野生動物、草花など様々な動植物のネイチャーウォッチングが楽しめます。また、湿原東側では日本一遅い「ノロッコ号」やカヌーツーリング等、世界に誇る湿原を様々なかたちで楽しむ事ができます。



阿寒湖エリア

雄阿寒岳・雌阿寒岳など雄大な山岳自然景観に囲まれた、阿寒湖を中心とするエリアです。特別天然記念物「まりも」の生息地として知られる阿寒湖は、平成 15 年ラムサール条約締結湿地に登録されました。湖畔に位置する阿寒湖温泉は、道内2番目の集客を誇ります。阿寒湖周辺は、大自然を満喫できる体験メニューや、スキー、スケートなどのウインタースポーツのメッカとしても知られています。



弟子屈エリア

原始林に囲まれ、世界一級の透明度や刻々と変わる湖面の変化が訪れる人々を魅了する摩周湖、独特のエメラルドグリーン美しい水を湛え、冬は白鳥と日本一の御神渡で有名な屈斜路湖、雄大な山岳湖景観のパノラマが広がる美幌峠など、豊かで変化に富んだ自然環境が特徴的な秘境エリアであり、弟子屈町と標茶町で構成されています。世界的に有名な観光地として知られる弟子屈町には、川湯温泉、摩周温泉という2つの代表的な温泉街があります。主要道路の結節点にある標茶町虹別地区では、地域住民を中心とする様々な先進的活動が展開されています。



中標津エリア

中標津町、別海町、標津町を含むエリアで、日本一の酪農地帯である根釧台地の上には、100 年かけて作りだされた、宇宙からも確認できるほど巨大な格子状防風林が広がっています。なだらかな丘陵にどこまでも続く牧草地景観、摩周、そして知床に続く雄大な山岳景観は、広がりのある独特の開放感を醸し出し、北海道らしい北海道を形成しています。



(3) エリアの資源

1) 釧路湿原エリアの資源



《釧路湿原》

【景観・自然資源】

■特徴的な釧路湿原の景観と動植物

釧路湿原は、他に類を見ない広大な湿地景観と特徴的な植物や水鳥を育む最大の特徴ある景観資源です。

■釧路湿原を俯瞰する展望台

釧路湿原を取り囲むように様々な展望施設が点在しています。釧路湿原の西端に位置する「釧路市湿原展望台」は、展示施設を併設しており、グラフィックパネルによる釧路湿原の生い立ちや、湿原の動植物、遺跡、地形、地質などについて展示しています。屋上からは四季折々の湿原の変化を見ることができます。

■SL 冬の湿原号

JR 釧網線「釧路一標茶間」で運行している「冬の湿原号」は、釧路湿原の東側を北上します。湿原の雄大さを体感できる車窓からはエゾシカをはじめとしてタンチョウなどを目にする事が出来ます。また、写真愛好家、鉄道ファンなどにとっては、被写体としても愛されています。



《タンチョウ》

【観光・レクリエーション資源】

■ 点在する温泉群

釧路湿原周囲には魅力的な温泉が点在しています。釧路市の山花温泉、鶴居温泉、標茶町の茅沼温泉など、規模は小さいものの観光客、そして地元市民の憩いの場となっています。

■ 釧路湿原を歩く

釧路湿原には様々なトレッキングコースが整備されています。「釧路市湿原展望台の木道」、鶴居村「温根内ビジターセンターの木道」はそれぞれ鶴居軌道跡探勝歩道で結ばれており湿原トレッキングを満喫することができます。その他にも湿原北部標茶町「塘路湖・シラルト湖の木道」、釧路町「細岡展望台の木道」など気軽に楽しめる個性的なトレッキングコースが多数点在しています。

■ 釧路湿原を学ぶ・体験する

屈斜路湖を源とし、釧路湿原を貫流する釧路川は、本格的カヌーツーリングのメッカです。通常では入れない湿原の深部に、大自然の懐に、専門知識を持ったガイドがいざなってくれます。また、絶滅寸前の丹頂を保護するために開園した釧路市丹頂自然公園は、『鶴になった男』で有名な高橋前園長の努力による累代飼育の成功、人口孵化技術などは、貴重な実践記録として世界中から注目を集めています。

【文化資源】

■ 海の文化・鯨の文化

道東地域は鯨によって栄えた地域。現在でも釧路沿岸沖では、北西太平洋鯨類捕獲調査の一環として鯨類捕獲調査が行われています。ルート周辺の市場やスーパーなどでは当たり前にも本場の食材にふれることができます。

【歴史資源】

■ 豊かな風土を物語る遺跡群

旧石器時代から縄文・続縄文時代を経て擦文時代に至る重複遺跡「北斗遺跡」は、釧路湿原を望む台地上に、縄文・続縄文時代の浅い円形・楕円形竪穴102軒、擦文時代の四角形竪穴232軒がくぼんだ状態で残されています。



《タンチョウ観察》



《釧路湿原 木道ウォーキング》

2) 阿寒湖エリアの資源



《朝焼けの阿寒湖》

【景観・自然資源】

■ 阿寒湖の景観

未だ多くの謎に満ちた特別天然記念物「まりも」、「ヒメマス」は阿寒湖を原産として全国に広がったもの。

観光船による砕氷作業とともに幕を開ける春、真緑の夏、紅葉の秋、厳しい冬の間、表情で繰り広げられる様々な活動はもう一つの阿寒湖の魅力です。

■ 深い森に囲まれた山岳景観

休火山の雄阿寒岳、活火山の雌阿寒岳に挟まれるようにたたずむ阿寒湖温泉の夏は多くの登山客でにぎわいます。大自然のなか、手付かずの自然を堪能することができます。

現在でも活発な火山活動を繰り返す雌阿寒岳は、自然の強大さを我々に伝えてくれます。



《阿寒湖遠望》

【観光・レクリエーション資源】

■阿寒湖温泉

阿寒湖畔に広がる阿寒湖温泉は、大小様々な旅館群と2つの商店街、アイヌコタンから成っています。嗜好を凝らした旅館から一歩外に出ると活気のある温泉街の賑わいが迎えてくれます。

極寒の夜、震えながら商店街を散策するお客様の顔は、いつも笑顔に包まれています。

■阿寒湖氷上フェスティバル

全面結氷した湖上で、2月上旬から3月上旬まで繰り広げられる冬のイベント「阿寒湖氷上フェスティバル」は、多数の氷像や雪像が会場を彩り、連日の花火大会、各種催し物が行われ、夏とは違う阿寒湖の魅力を味わえます。

ヨーロッパで盛んなスケートマラソンや、スノーモービルに乗り、人工的な光、音の全くない阿寒湖奥地で体験するスターウォッチングなどが特に有名です。

■多彩なアウトドアメニュー

阿寒湖および阿寒湖を源とする阿寒川等は、全国的に有名な釣りのメッカです。中でもフライ&ルアーフィッシングが盛んで阿寒湖が原産とされるヒメマスをはじめニジマス、ヤマベ、アメマス等の溪流釣りを堪能できます。

また、日本百名山にも数えられる阿寒の峰々には多くの登山客のための山岳ガイド、トレッキングツアーなど多彩なメニューがあります。



《アイヌコタン》



《阿寒湖でカヌーを楽しむ》

【文化資源】

■アイヌの文化

アイヌが多く住み、独特の文化を形成している道東のなかでも、阿寒湖温泉には大規模なコタンがあり、国の重要無形文化財にも指定されているアイヌ古式舞踊、動物の魂送りの儀式であるイオマンテ(またはイヨマンテ)を演劇として伝える公演などを見ることができます。

【歴史資源】

■アイヌの伝統行事

例年、10月上旬に実施される阿寒湖まりも祭りは、阿寒湖で最も伝統のあるアイヌのお祭りです。「まりもを迎える儀式」並びに「まりもを送る儀式」など、3日間に渡り幻想的に執り行われます。



《スケートマラソン・氷上フェスティバル》



《アイヌの伝統行事:演劇》

3) 弟子屈エリアの資源



《氷結した摩周湖》

【景観・自然資源】

■摩周ブルー

周囲 20km、面積 19.6 平方km、最深 212m。41.6m という世界屈指の透明度を持つ摩周湖は、流れ込む川、流れ出る川が一切なく、不純物を一切拒絶した神秘の湖です。

また霧の摩周湖としても有名で、霧にまつわる数々の言い伝えがあります。切り立った湖岸に囲まれた湖には容易に近づくことが出来ません。第一、第三、裏摩周の3箇所の展望台からの眺めが一般的です。

■エメラルドグリーンの屈斜路

日本最大のカルデラ湖である「屈斜路湖」は周囲 57km、面積 79.7 平方km、最深 117.5mで、釧路川の流出湖です。

夏は湖水浴を楽しむ子供たちの歓声に包まれ、釧路川、釧路湿原を巡るカヌーツーリングのスタート地点として、冬は遠くシベリアから越冬にやってきた白鳥たちの楽園になっています。日本一の規模を誇る御神渡りの地としても知られています。

美幌峠から望む屈斜路湖の景観は特に有名です。

■大地の鼓動を感じる

屈斜路湖畔、川湯温泉の源となる硫黄山は、今でもあちこちで噴煙をあげ、まさに地球の鼓動を感じられるところです。周囲は特徴のある植生が広がり、全国で唯一、高山植物のハイマツやエゾイソツツジが低地に大群落を形成していることでも有名です。



《神秘の摩周ブルー》



《大地の鼓動：噴煙をあげる硫黄山》

【観光・レクリエーション資源】

■多彩な泉質の温泉群

弟子屈エリアは、ほぼ全域に渡り温泉が点在しています。中でも草津に並び称される硫黄泉の川湯温泉はに全国から沢山の観光客が訪れます。

湯量豊富な温泉群。川湯温泉と摩周温泉では、当たり前が続けてきたこと「源泉掛け流し」を全国に向け宣言しました。

■遊覧飛行

弟子屈遊覧飛行場では、セスナ機により阿寒国立公園の上空散歩が楽しめます。根釧平野や北見盆地、知床半島まで独り占めしたような快感が味わえます。営業期間は毎年7月から9月にかけてで、最盛期は2機のセスナを用意しています。

■キャンプ場

弟子屈エリアには、多くのキャンプ場、オートキャンプ場があります。中でも屈斜路湖に面した砂湯キャンプ場では、湖水浴、手作り露天風呂、そしてキャンプと屈斜路湖の大自然を満喫できます。また、地域住民が愛情を込め手作りで運営している虹別オートキャンプ場では、静寂に包まれた環境の中、散歩やつりを楽しむことができます。



《屈斜路湖砂湯：手づくり露天風呂》

【文化資源】

■アイヌ文化

屈斜路湖には、阿寒湖と並び地域を代表するアイヌコタンがあります。日中はレストラン、夜は宿、そしてモシリのライブ会場でもある「丸木舟」では、心静かに歌い 炎のように踊る 幻想の舞台を見ることができます。

また、隣接する弟子屈町屈斜路コタンアイヌ民族資料館では、アイヌの人々の生活の英知、歴史を中心テーマとして衣、食、住、生産、風俗、風習等の基本形態を中心に展示しています。

■原野の詩人

『原野の詩人更科源蔵』さんは、1904年(明治37年)弟子屈町字熊牛原野で生まれ、1985年(昭和60年)81歳で札幌で亡くなりました。更科さんは、コタンの小学校の代用教員や酪農・印刷業などする傍ら、東京で勉学中、詩人尾崎喜八に認められた詩作を続け、アイヌの古老からアイヌ文化を教わり、同人誌の発行や郷土史・アイヌ文化の研究など文筆活動をされました。

晩年は、自分史『原野シリーズ』5巻を出筆し、故郷『熊牛原野』にこだわり続けた詩人です。



《屈斜路アイヌコタン》



《上空散歩》

4) 中標津エリアの資源



《宇宙からも確認できる格子状防風林》

【景観・自然資源】

■ 広大な酪農景観

根釧台地の酪農景観は、人々が営みの中で創り上げてきた壮大で独特な資源であり、圧倒的迫力で記憶に残るものです。開陽台展望台は、格子状防風林を見渡すこともでき、広大な酪農景観を実感するのに絶好の場所です。



《開陽台牧場:ふれあい広場》

【観光・レクリエーション資源】

■大人から子供まで楽しめる公園

中標津町の道立ゆめの森公園は、中標津空港に隣接し、既存樹林やうねった牧草地の地形が活かされた雄大な公園です。

地域住民はもとより、多くの観光客により賑わっています。特に室内遊具施設は一年を通じたくさんの子供たちに利用されています。

■酪農体験、ファームステイ

酪農経営の先進地中標津では、ファームステイや農業体験の受入が盛んに行われています。



《道立ゆめの森公園》



《牧草地の景観:「牛」の刈り込み》



《開陽台展望館からの眺望》

【歴史資源】

■開拓の歴史

根釧台地に広がるパイロットファーム開拓の歴史は地域の誇る歴史資源そのものです。中標津町にある根釧農業試験場旧庁舎本館を保存、利用している伝成館では限りなく身近に開拓の歴史を感じることが出来ます。

また、格子状防風林は宇宙からも確認できるほどの巨大な人工物。幅100間のカラマツ林は過去100年の間に人の手で造林し、守り続けた智恵の結晶です。現在も生き続ける歴史資源といえます。



《個性あふれる牧場》



《開墾の歴史を物語る伝成館》

3.ルート運営活動の目標とテーマ

Clear Stream Scenic Byway

(1)活動の目標

**競争力のある、美しく個性的なひがし北海道の実現
～「憧れ」が「大好き」に変わるひがし北海道の旅～**

釧路湿原や阿寒湖、摩周湖をはじめとする

豊かで特徴的な自然景観はまさに憧れの的。

根釧台地に広がる広大な牧草地と格子状防風林は、

宇宙からも見える先人たちの叡智の結晶。

この魅力的な地域資源を惹きたて、等身大の顔の見えるルート運営を目指します。

(2)テーマ

**神秘的で優れた自然のあり様を五感で感じる
ダイナミックルート**

空と大地

山河と湖沼

類い希なる自然の魅力に恵まれたこの地

その素晴らしさを五感のすべてで感じてほしい

その体験の広がりが、神秘の自然を守る力になると信じて

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの活動を推進します。

4.ルートストーリー

Clear Stream Scenic Byway

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイでは、目標を達成し、テーマを実現するために、次のようなルートストーリーを展開します。

Story1 あづましい時間

どこか粗忽な道東気質。理屈をこねず、笑顔でやってのけるのが私たちのいいところ。その裏には、地域へのとびっきりの愛着と、先人から受け継いだ仲間意識が見え隠れ。活動の第一歩は、隣の人と手をつなぐこと。

この小さな連携が、やがてルートを包み込む大きな輪になります。

その先にある「美しさ」「魅力」「活力」を具現化し、あづましさを育てていきます。



Story2 守るものがここにある

世界一級の透明度や刻々と変わる湖面の表情が人々を魅了する藍の「摩周湖」
日本一の御神渡りで有名な伝説の湖、エメラルドグリーン「屈斜路湖」
原生林に抱かれたほとり、マリモの眠る「阿寒湖」
わが国最初のラムサール条約締結湿地である「釧路湿原」
20万匹もの鮭が遡上する清流「標津川」は全国初の自然復元試験地
最後の清流と謳われる西の四万十川、東の「釧路川」はナチュラルリストの憧れの的
ルート内に点在する稀少動植物をはじめとした素晴らしい自然の保護と利用をはかり、子供たちにしっかり渡していきます。



《摩周湖》



《屈斜路湖の御神渡り》



《釧路湿原》



《雄阿寒岳》

Story3 いで湯多彩な温泉大地

- | | |
|---------|------------------------------|
| 「阿寒湖温泉」 | : 単純泉・弱塩泉 |
| 「摩周温泉」 | : 弱食塩泉・弱アルカリ塩泉・塩化物泉 |
| 「川湯温泉」 | : 硫黄泉・硫化水素酸性明ばん泉・ナトリウム炭酸水素塩泉 |
| 「養老牛温泉」 | : 石膏食塩泉 |
| 「中標津温泉」 | : ナトリウム塩化物泉・含食塩硫黄泉 |

多彩な温泉群は、泉質にも富み、癒しと安らぎを与えてくれます。
また、今でも噴煙を噴き上げる「雌阿寒岳」「硫黄山」は自然の厳しさを伝えると共に、多くの外国からのお客様に感動を与えています。
温泉をとりまく自然、環境を大切に守り、個性的な観光空間を形成します。



《雌阿寒岳》



《川湯温泉の足湯》



《硫黄山》



《阿寒湖温泉のポツケ》

Story4 空と地平線をつなぐ道

知床に続く山々を背景に、どこまでも続く牧草地

根釧台地に広がる格子状防風林は、宇宙からも確認できる人工自然遺産

北海道人に、真の北海道はこの地にあると言わしめる地域景観は、先人から受け継いだすばらしい宝です。

東に根室中標津空港、西に釧路空港を有する本ルートは、まさに空と、どこまでも続く地平線をつなぐ道。大きな北海道を五感で感じる環境を大切に受け継ぎます。



《開陽台からの
格子状防風林》



《宇宙からも確認できる
格子状防風林》



《牧草地景観》



《中標津空港遠景》

Story5 悠久の歴史と開拓ロマンに逢える道

旧石器時代から縄文・続縄文時代を経て擦文時代に至る重複遺跡「北斗遺跡」

釧路湿原周辺、釧路川、標津川流域をはじめ、本ルート内には数々の遺跡が点在しています。

また、優れたアイヌ文化は伝承され、「食」「芸術」「祭り」など独特の地域文化を形成しています。

根釧農業試験場旧庁舎を利用した伝成館では、壮絶な開拓の歴史を垣間見ることができます。



《屈斜路湖畔コタン》



《阿寒湖温泉
アイヌ伝統行事》



《伝成館》



《北斗遺跡展示室》

5.ルートの運営体制

Clear Stream Scenic Byway

(1)活動団体

摩周湖世界遺産登録実行委員会	
代表者名	会長:桐木茂雄
活動人数	約 150 人
主な活動場所	弟子屈町全域
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・弟子屈クリーン作戦(国道・道道の駐車帯の清掃)の実施 ・摩周湖シンポジウムの開催 ・摩周湖子供サミットの開催 ・キングオブクリーンウォークの共催 ・Teshikaga Eco プロジェクトの作成
備考	摩周湖を後世に残すべき貴重な財産と位置づけ、世界のトップレベルを誇る摩周湖を世界遺産に登録し、環境の保全を行いながら、新たな経済活性化を図るべく活動行っています。主な活動としては摩周湖及び近隣地域の環境保全活動(清掃等)子供たちへの環境教育に重点を置いた活動を行っています。また周辺の団体の環境活動へ積極的に参加しています。

弟子屈町商工会	
代表者名	会長:桐木茂雄
活動人数	約 330 会員
主な活動場所	弟子屈町全域
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・HPによる弟子屈町の魅力PR ・観光部会による植樹活動 ・青年部・女性部による国道沿い植樹帯への植樹・清掃活動 ・地域振興イベントへの参加・協力
備考	商工会の活動理念である地域経済の発展と社会福祉の増進を目標に3部会(商業部会・工業部会・観光部会)と青年部・女性部が中心となって活動を行なっております。

川湯温泉観光協会	
代表者名	会長:根津 文博
活動人数	50 人
主な活動場所	川湯温泉地区
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・PR 宣伝事業の実施 ・観光案内業務の実施 ・誘客事業の実施 ・足湯等の施設整備
備考	<p>(目的)周辺の自然や施設を広く宣伝し、観光客の誘致を図る。 誘客増大による地域の活性化を図る。</p> <p>(方法)国内・国外での観光プロモーション事業への参加 国内エージェントへの PR 宣伝・プロモーションの実施 長期間のイベントの開催</p>

社団法人 摩周湖観光協会	
代表者名	会長:筒井庄一
活動人数	約 500 人
主な活動場所	弟子屈町市街地を中心とした、川湯以外の町内
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトランドカムイ in 摩周 等 ・沿道街路樹を使ってイルミネーションの取り付け
備考	町内の街路樹にイルミネーションを設置することにより、町内が明るくなり、商店街の話題性と活性化を目的とする。

弟子屈町自治会連合会	
代表者名	会長:鈴木幸栄
活動人数	3311 世帯
主な活動場所	弟子屈町市街地が中心
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動(花の苗植栽 花壇整備) ・環境美化活動(清掃活動) ・ゴミ減量化と分別、リサイクル運動 ・交通安全、防犯運動 ・ボランティア活動
備考	自治会連合会傘下の単位自治会(37)が各地域において実施している「花いっぱい」「環境美化」活動のエリア拡大を図り住民や観光客に対する癒しの世界を創造するため沿線自治会を中心に多くの会員に呼びかけ活動を展開する。

標茶町虹別市街町内会	
代表者名	会長:舘 定宣
活動人数	約 50 人
主な活動場所	虹別市街地
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動 ・道路清掃 ・市街全域の草刈 ・環境美化運動の推進
備考	市街町内会としては、中標津町、別海町、弟子屈町、標茶町への出入り口として従来から環境美化運動には強力に取り組んで来たところです特に市街町内会として設立された昭和42年から現在まで、5月から10月までの毎月1日を道路清掃日としておりますし、花いっぱい運動の推進や空き地の草刈、あると秋の町内会一斉清掃等に取り組んできました。(街路樹柵の花植、歩道へのプランターの設置80個、花壇2カ所)

中標津町商工会青年部	
代表者名	部長:渡辺幸宏
活動人数	約 70 人
主な活動場所	中標津町市街地
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・なかまっぷ市場(中心市街地活性化対策と地域振興による活動) ・じゃがいもまつり&ふれあい広場(地場産品 PR と地域産業の振興) ・管内スローフードラリー(地産地消の促進と交流人口の拡大) ・管内体験型観光ガイドブックの製作(地域資源の再発掘と交流人口の拡大) ・青年部探検隊(中標津町にある観光地や秘境を探索しHP等で紹介)他
備考	

社団法人 中標津青年会議所	
代表者名	理事長:高桑国博
活動人数	約 47 人
主な活動場所	会議、イベントなどの活動の中心は中標津町内。会員は釧根地区に幅広く分布
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・都市景観を考える。(講師を招き、未来の地域について町民と一緒に考える) ・ゴミ拾い(中心市街地のゴミ拾い) ・HP作成(中標津町にある観光地や秘境を探索しHP等で紹介)他
備考	

協同組合 日専連中標津青年会	
代表者名	会長:吉川雅人
活動人数	約 13 人
主な活動場所	中標津町市街地
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「花いっぱい運動」(町内の幼稚園や保育園に花の苗を育成してもらい、道立ゆめの森公園に展示。) ・ごみ拾い(町内観光地の清掃作業) ・キングオブクリーンウォークの共催。
備考	

中標津町商工会女性部	
代表者名	会長:端佳代
活動人数	約 64 人
主な活動場所	中標津町市街地
活動実績	地域振興イベント等への参加・協力 <ul style="list-style-type: none"> ・コスモスの里への参加(道立ゆめの森にてコスモスの花植え) ・街路樹への花植えの実施(町内51ヶ所にて) ・学校、福祉施設への慰問・支援協力事業の実施 ・収集ボランティア活動 他
備考	多くの車がおとるであろう主要道路(市街地)に花を植えるなど女性の観点、視点から美観形成に努める。

ボランティアネットワークチャレンジ隊	
代表者名	代表:佐竹直子
活動人数	約 180 人
主な活動場所	釧路市内
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・くしろゆび相撲 ・くしろ湿原音探検 ・じゅう箱のスミまつり
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・子供からお年寄、障害の有無に関わらず、地域に参加できる活動ベースづくり ・活動団体、個人をむすぶネットワークづくり ・福祉、教育、自然、街づくりなどの分野にまたがり、分野をつなぐコーディネート ・Eメールを活用した情報の発受信 ・啓発イベントの開催、フリーペーパー「じゅう箱のスミ」発行(隔月35,000部)

阿寒町花いっぱい運動推進委員会	
代表者名	会長:角田精
活動人数	約 1300 人
主な活動場所	阿寒町市街地
活動実績	花苗の植付けと除草 <ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者が花苗と肥料の提供、住民が植付けと除草 ・清掃、植栽、除草、花株の撤収
備考	阿寒国立公園を町内にもつという中で、その入り口としてふさわしい、美しい景観にしたい

NPO 法人 阿寒観光協会まちづくり推進機構	
代表者名	理事長: 松岡照幸
活動人数	約 127 人
主な活動場所	阿寒湖温泉地区
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・阿寒湖岸の公園化 ・足湯の整備 ・キャンプ場の整備 ・温泉街の交通システムの改善 ・のんびり阿寒キャンペーン(滞在メニューの構築) ・地域通過と財源確保の仕組みづくり(まりも家族手形等) ・商店街現況調査
備考	交通システム委員会が活動、交通システム検討協議会が、その活動を支援するシステムです。東西に分かれている商店街に、賑わいを取り戻す為、安心・安全で快適な環境を整備する。

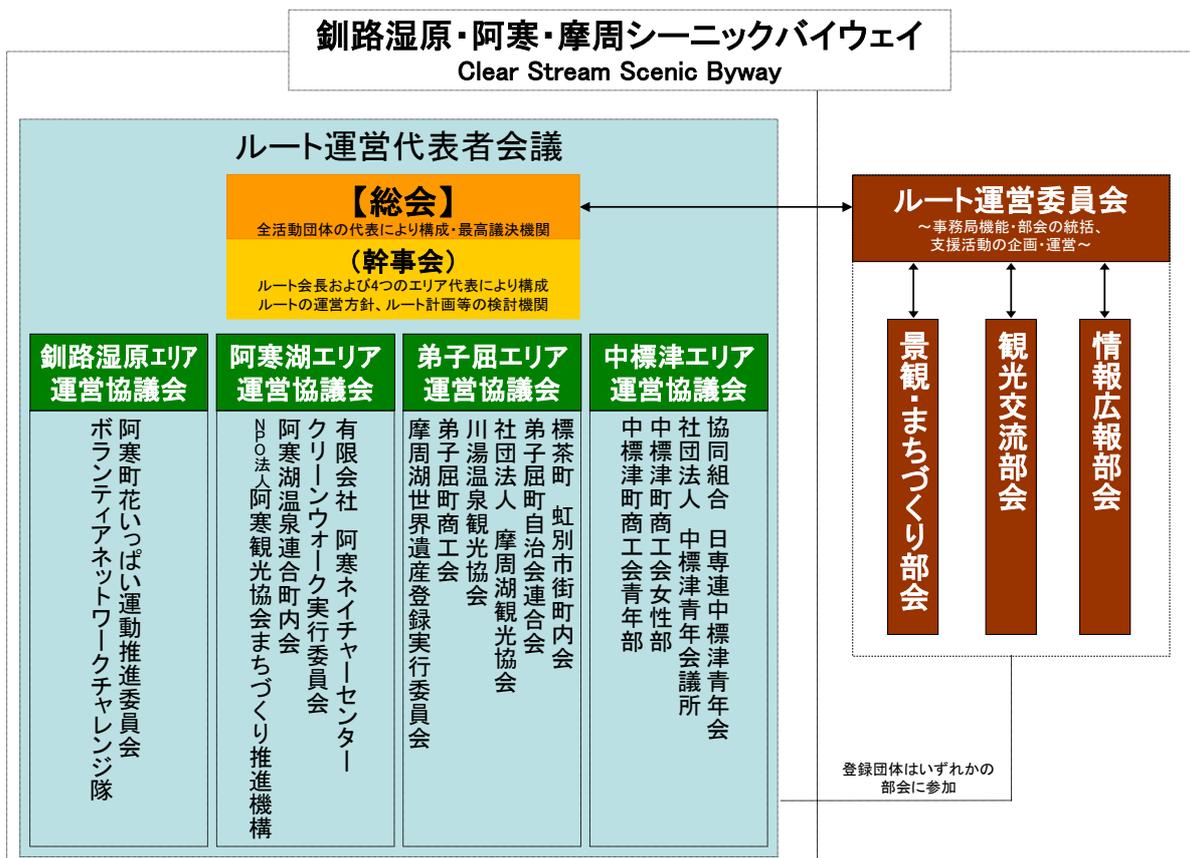
阿寒湖温泉連合町内会	
代表者名	会長: 金山 泰明
活動人数	約 50 人
主な活動場所	阿寒湖温泉地区
活動実績	花いっぱい運動
備考	阿寒湖畔在住の観光に携わる住民が中心となり、阿寒湖畔沿線の沿道景観の付加価値を高めるために実施しており、より多い観光客の皆様にも、美しい阿寒湖の自然を、印象づけるため活動しています。

クリーンウォーク実行委員会	
代表者名	委員長: 鶴間秀典
活動人数	約 20 人
主な活動場所	阿寒湖温泉地区および弟子屈町
活動実績	阿寒摩周キング・オブ・クリーンウォークの開催
備考	阿寒国立公園をきれいにすると共に、みんなの心をきれいにすることを目的としています。「すてたら阿寒 ひろい摩周」を合い言葉にクリーンウォークを多くの地域で多方面に広げていこうと考えています。

有限会社 阿寒ネイチャーセンター	
代表者名	代表: 安井幸紀
活動人数	約 20 人
主な活動場所	阿寒湖温泉地区
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・国道、町道、林道を利用したマウンテンバイクツーリング ・オンネトー周辺の道道、林道を利用したトレッキングツアー、MTB ツアーなど
備考	活動の場であるフィールドの環境保全・保護を最優先したメニュー作りをしている。

(2) 運営体制

ルート運営活動は、各部会で企画案を検討し、ルート運営委員会の場でルート全体としての取組方針や、部会・エリアの連携方法等について調整します。幹事会に提案し、承認された活動計画は、各エリアの運営協議会を中心に、活動団体が連携して実施します。



(3) 組織構成とその役割

① ルート運営代表者会議

ルート運営代表者会議は、活動団体によって構成されます。

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイのルート運営活動計画及び活動の推進を目的とします。

目的を達成するために次の事項を行います。

- (1) ルートの運営に関する意志決定
- (2) ルート運営活動計画の策定及び活動推進
- (3) シーニックバイウエイ北海道「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ」ルート運営行政連絡会議との連携
- (4) 団体の入会及び構成団体の退会の決定
- (5) その他、ルート運営に必要と認められる事項の審議及び決定

本会議には会長 1 名、幹事 4 名の役員を置きます。幹事は会長を兼ねることができます。

■ 会長

所属活動団体	氏名
摩周湖世界遺産登録実行委員会	桐木茂雄

平成 18 年 8 月現在

■ 幹事

エリア名	所属活動団体	氏名
弟子屈	摩周湖世界遺産登録実行委員会	桐木茂雄
阿寒湖	阿寒観光協会まちづくり推進機構	蔵根敏文
中標津	中標津町商工会青年部	渡辺幸宏
釧路湿原	ボランティアネットワークチャレンジ隊	酒田浩之

平成 18 年 8 月現在

①-1 総会

総会は、活動団体の代表者によって構成される最高議決機関として次に掲げる事項を審議します。

- (1) 規約の改廃
- (2) ルートの運営活動、その他状況等の報告
- (3) ルート運営活動計画の策定及び変更
- (4) 施要綱第十八条第 1 項及び第 2 項に基づく、ルート運営活動計画の進捗状況の報告
- (4) 代表者会議への団体の入会及び構成団体の退会
- (5) その他、ルートの運営活動に関する重要事項

①-2 幹事会

幹事会は、代表者会議の役員によって構成され、次に掲げる事項を審議します。

- (1) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (2) 総会に付議すべき事項
- (3) その他、ルート運営活動計画を推進するために必要な事項

②ルート運営委員会・部会

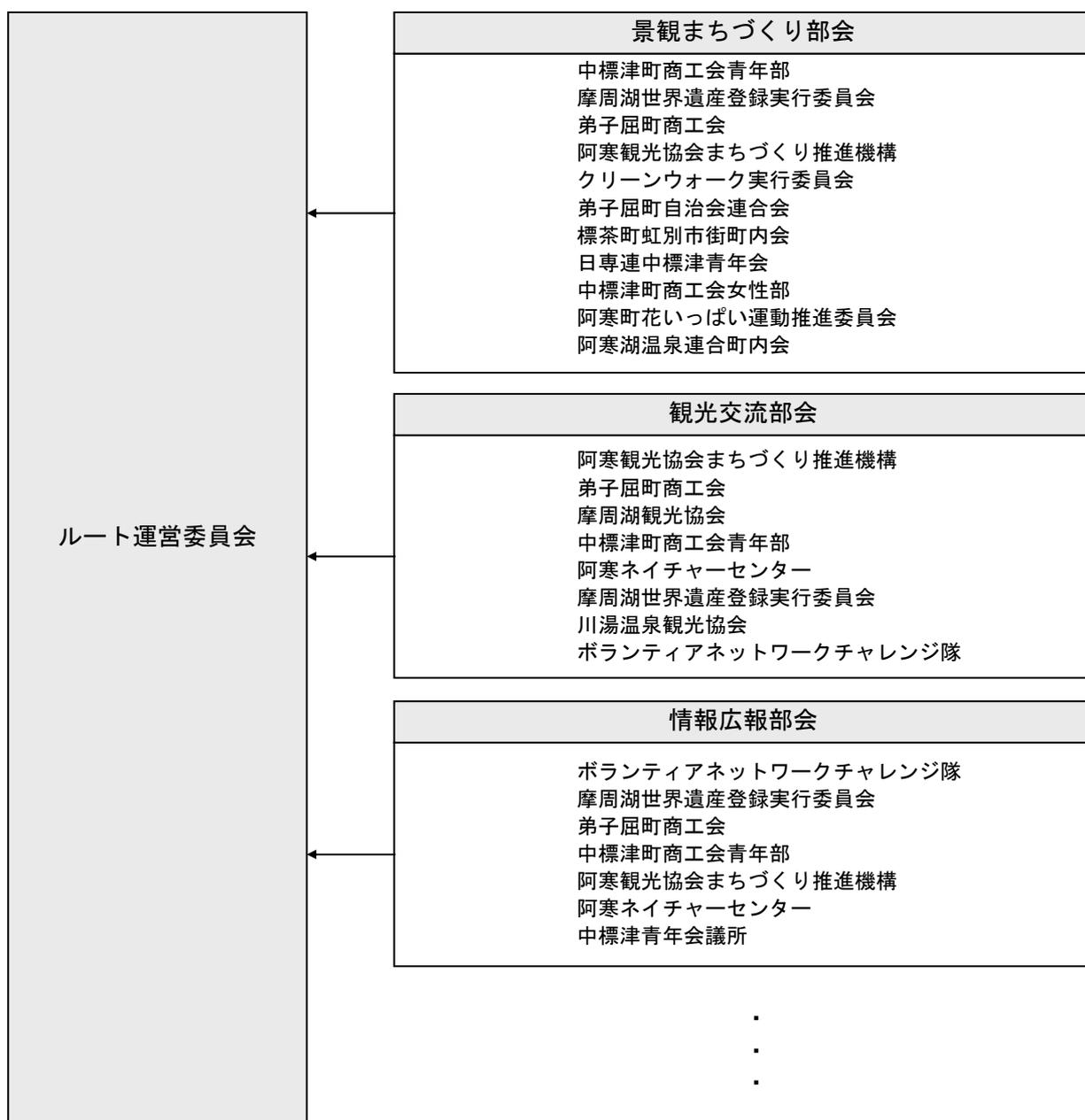
ルート運営活動計画推進のために、幹事会がルート運営委員会を設置します。ルート運営に必要な情報の管掌、ルート運営活動の企画・提案・調整、ルート運営に必要な事務機能の取り扱いを含め、ルート運営委員会では以下の事項を協議します。

- ・ルート運営活動計画の企画提案
- ・ルート運営活動の調整
- ・ルート運営に必要な事務の遂行

各部会は、部会長と担当が中心となって、それぞれのテーマに沿った企画・運営・研究・活動等を行うことを役割とします。

ルート運営委員会構成

※必要に応じて部会の編成



③エリア運営協議会

現在、釧路湿原エリア運営協議会、阿寒湖エリア運営協議会、弟子屈エリア運営協議会、中標津エリア運営協議会の4つがあります。

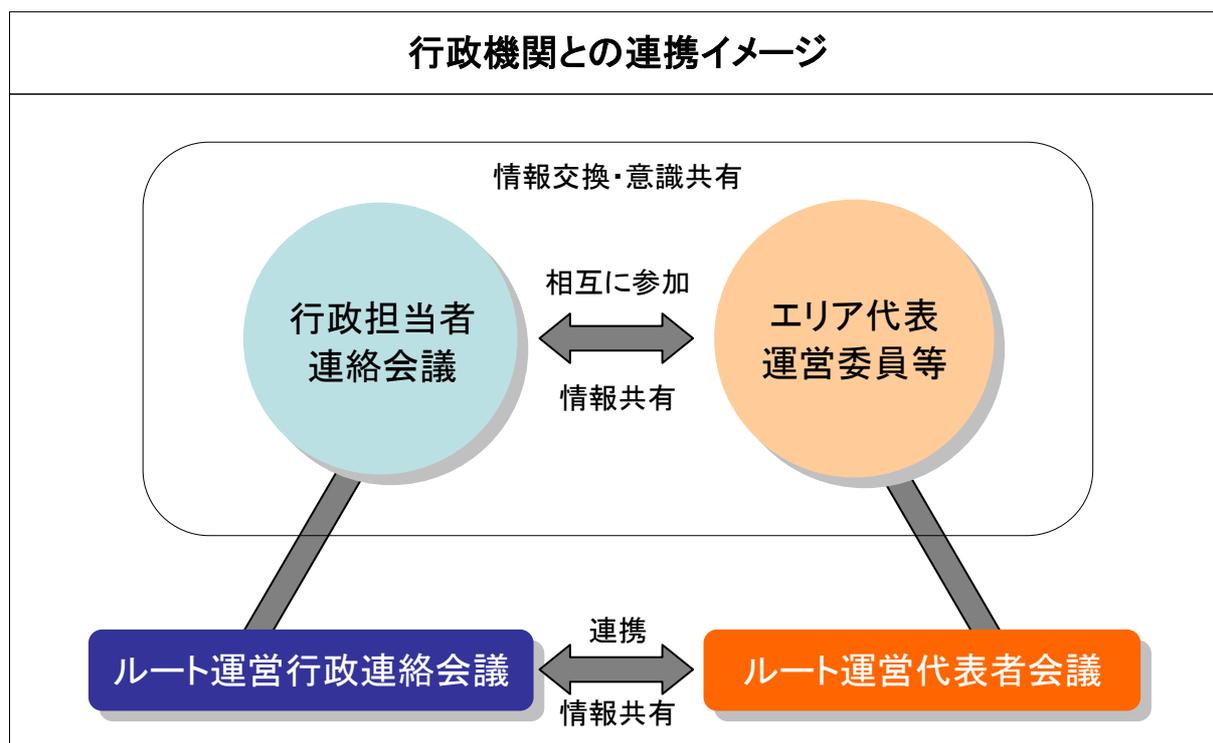
エリアごとに団体数、地域特性などの違いがあるためエリア代表の裁量により実情に合った形式で開催することを基本とします。

エリア運営協議会では以下の事項を協議します。

- ・エリア代表の選出
- ・エリア活動に関する事
- ・エリア内活動団体に関する事
- ・その他必要な協議、幹事会の結果の連絡等

(4)行政との連携

ルート活動にあたり、関係行政機関との連携を図りながら、運営活動計画の策定、および実施を行います。ルート運営活動を円滑に推進するために、行政側の担当で構成する「行政担当者連絡会議」と、ルート側のエリア代表や運営委員が意識共有や情報交換を行う場を設置し、綿密で実効性のある連携体制の構築を図ります。



6.活動方針と活動内容

Clear Stream Scenic Byway

(1)活動方針と活動内容

1)景観まちづくりに関わる活動 主に「景観まちづくり部会」

a.活動方針

美しく個性的な地域景観の形成、まちづくり
世界に誇る地域自然の保護と利用

b.活動内容

■花・植栽

花づくりを核とした地域間連携の促進、個性ある地域景観の形成

- 活動①: 花いっぱい活動調査→web 上での活動紹介による、相互認識
- 活動②: 個別活動への参加、共同開催など実施する。(見学ツアーなど)
- 活動③: 勉強会などを実施し、ルート共通コンセプトを模索、決定する。(活動発表会など)

■自然との共生

自然を守り共に生きる活動の展開

- 活動①: 水資源調査(湧水・清流マップ作成)
- 活動②: 環境負荷に考慮した交通システムの検討
- 活動③: 環境保護、利活用のためのルール作りの検討

清掃活動を通じた「地域間連携」と「まちを愛する気持ち」のプロデュース

- 活動④: エリア間で連携した清掃活動
- 活動⑤: キングオブクリーンウォークへの協力と支援(連携した参加者募集活動)

■地域資産

地域産物、産地との連携

- 活動①: 地域資源(特に農産物)の PR 活動→シーニックカフェでの実践
- 活動②: 産直および商品化にあたっての需要等の調査

■地域資源

地域資源を活かしたまちづくり

- 活動①: 景観ウォッチング、景観診断を実施(冬場の資源発掘など)
- 活動②: 巡回写真展(歴史、景観、他)フォトコンテスト等による優れた地域景観資源発掘
- 活動③: エリア間で連携したシーニックカフェの実施
- 活動④: 道の駅、既存施設の利活用の検討・中心市街地の活性化

2) 観光交流に関わる活動 主に「観光交流部会」

a. 活動方針

「憧れ」を「大好き」に変えるひがし北海道の旅

b. 活動内容

■分科会運営

円滑な分科会運営(地域間連携の構築)

- 活動①: 既往活動情報の収集、整理(観光行事概要等に関する現況調査)
- 活動②: 「お手伝いから始めよう」お互いを知るための取り組み
- 活動③: 継続的な検討機関の設置(勉強会、意見交換会などの実施)

■観光案内システム

観光客の立場に立った情報拠点(観光案内所)の整備

- 活動①: 観光案内施設間の連携による広域観光情報の受発信
- 活動②: 観光案内施設間の広域連携実現のための検討機関の設置
- 活動③: 通訳ボランティア制度のルート内への拡大などユニバーサル情報整備

■観光交流人口の増大

新規観光メニューの創出

- 活動①: ドライブモデルコースの設定(拠点ピックアップ、環境整備など)
- 活動②: 外国人へのアンケート実施
- 活動③: 体験観光情報の発信

■観光情報

観光情報の整備、発信

- 活動①: ルート内観光情報の集約、情報広報分科会と連携した情報発信
- 活動②: 情報広報分科会と連携した観光マップの作成と配布(主に情報提供と、配布場所の選定)

3) 情報広報に関わる活動 主に「情報広報部会」

a. 活動方針

「顔が見える」、「匂が伝わる」 活きた情報の発信

b. 活動内容

■企画・立案

ルート広報のプロデュース

- 活動①: 各種媒体との関係性の構築
- 活動②: ルート活動において目的にあった広報プロデュース
- 活動③: アーカイブ機能の整備

■情報の発信

ホームページによる広域情報ネットワークの構築

- 活動①: 既存情報の収集、整理(既存地域情報の集約)
- 活動②: 広域連携に即した情報の発信(花いっぱい活動紹介など)
- 活動③: 匂を伝える、地元情報発信のための環境整備(エリア発信ページ充実のためのエリア内体制づくり)

ルートマガジンの発行

- 活動④: ルートマガジンの企画、編集、発行、配布
- 活動⑤: 情報の蓄積と整理、活用

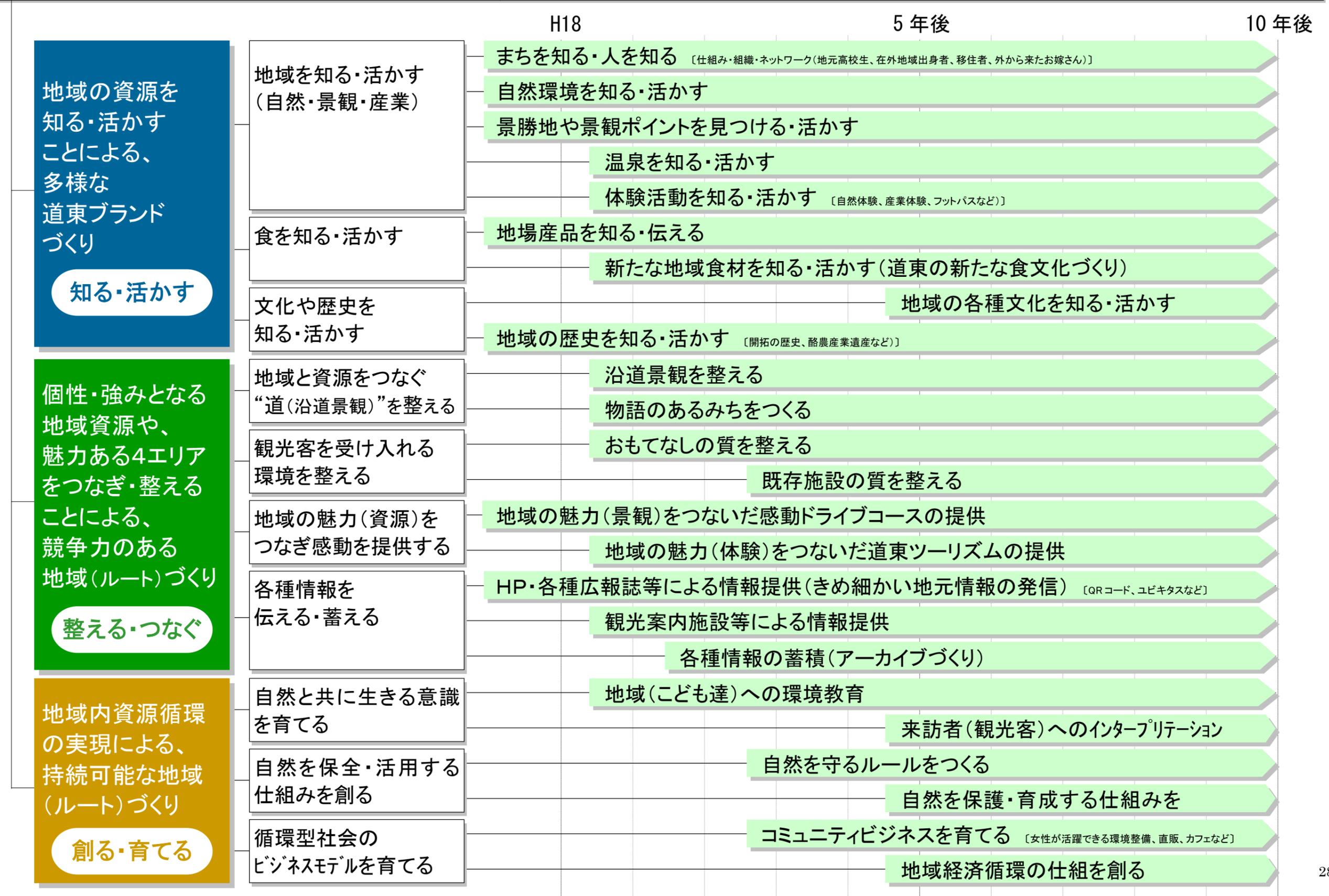
活動団体への情報発信

- 活動①: 会報などの発行(一般活動団体員へのニュースレター機能)

(2) 中長期計画

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

【テーマ】神秘的で優れた自然のあり様を五感で感じるダイナミックルート



(3) 年度計画

平成 18 年度活動スケジュール

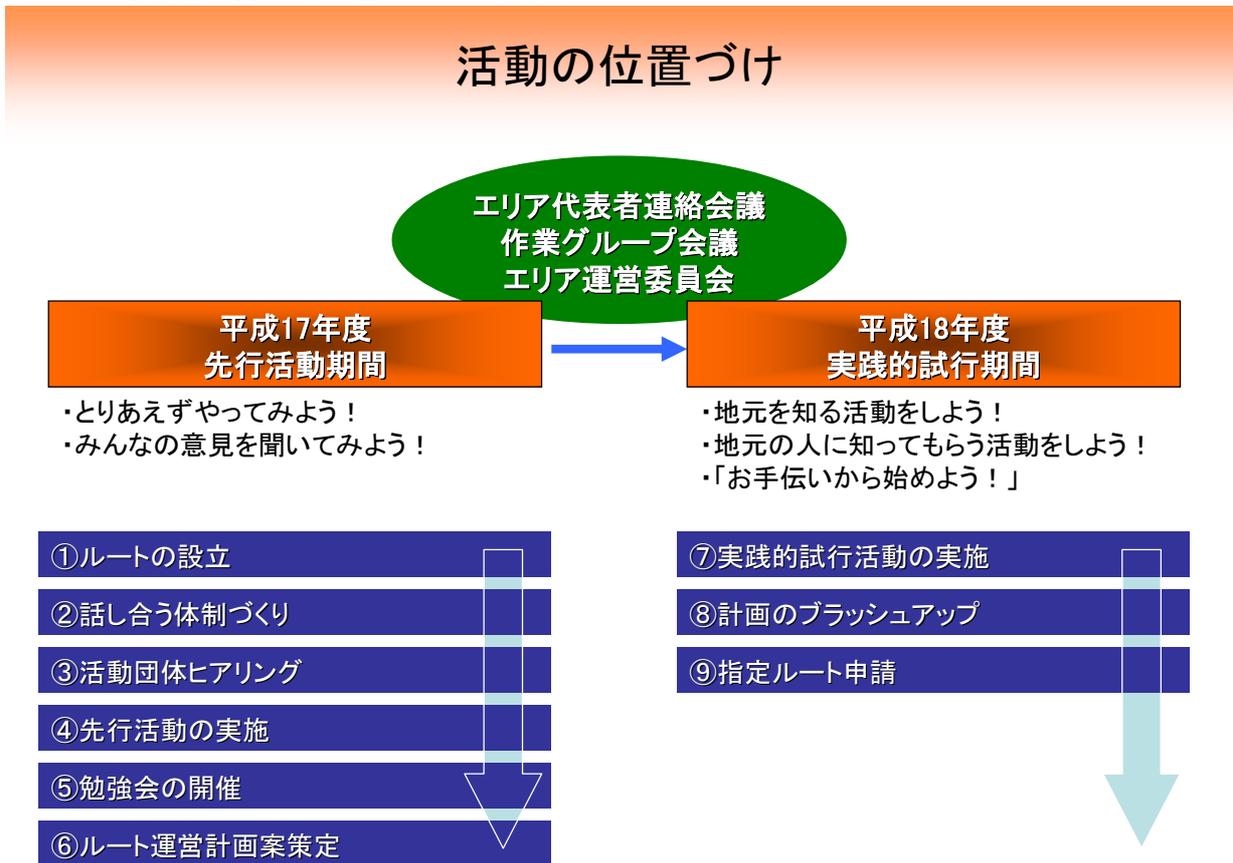
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
主な取り組み		取りまとめ	WG組織化	計画に基づく実践(申請に向けた試行)			実践と計画内容精査		申請						
会議	行政連絡会議(準備会)						行連担当会議7/7	行連会議準備会	意見照会						
	ルート計画・運営等承認機関 代表者会議(総会)							総会	指定記念〇〇						
	ルート計画・全体運営等、調整機関 代表者会議〔幹事会〕	意見集約 ネット等で	エリア代 会② 3/16	エリア代 会③ 4/19	エリア代 会④6/6	エリア代 会⑤7/20	意見集約 ネット等での内容確認		エリア代 会⑥						
	ルート計画・部 会運営等、検 討機関 ルート運営会議	作業G② 3/16	運営会議① 4/19	運営会議②6/6	運営会議③7/20	活動団体 意見調整		運営会議④	エリア代 会⑦						
分野別、エリア 別事項等検 討機関	エリア運営会議		エリア運 営会議②		エリア運 営会議③	エリア運 営会議④									
	部会	景観	景ま① 4/13	景ま② 5/30	景ま③ 7/5	景ま /	景ま /	景ま /	景ま /	景ま /	景ま /	景ま /	景ま /	景ま /	
		観光	観光① 4/12	観光② 4/19	観光③ 5/24	観光④ 7/12	観光情報 合同 7/18	観光 /	観光 /	観光 /	観光 /	観光 /	観光 /	観光 /	
情報		情報① 3/23			情報② 7/13	情報 /	情報 /	情報 /	情報 /	情報 /	情報 /	情報 /	情報 /		
活動	運営	申請に向けた取組	現況整理、分科会開催、 結果とりまとめ	申請書類 (ルート運営活動計画)案策定	申請書類 (ルート運営活動計画)案見直し										
		組織		新規加入団体のルール案 策定(審査基準、分類など)	新規加入団体のルール案 見直し										
		ルート間 交流他		次世代担い手づくりに関する取組み(出前講座など) 活動計画策定→19年度実施を目指す取組み(通年)											
	部会活動	景観まち 運営	分科会運営計画案 活動計画案策定												
		景観調査													
		カフェ													
		リレー清 掃他	ジャンパーのぼり制作	4/27 同奉	5/27 同奉	6/4 中標	キングオブクリーンワーク 実行委員会への活動運営協力	9/2							
		写真展					企画調整アポイント		開催準備						
		花いっぱい	花いっぱい活動予定調査 開催+エリア担当者協力		花植え時期の相互交流 (調査+ヒアリング)→web上マップ作				ルート内花いっぱい 見学ツアーなど						
		水マップ		湧水、清流マップ web立ち上げ 先行事例紹介											
観光交流	運営	分科会運営計画案 活動計画案策定													
	地域間連 携		観光行事調査シート配布	相互交流内容案策定											
	情報シス テム構築				観光案内、情報提供に関する現況調査 →調査結果の取りまとめ										
	新規観光 メニュー		モデルコースの設定 マップ+HP作成連携	外国人向け観光アンケートの実施			キングオブクリーンワーク との連携								
	情報広報	sbw.web	HP企画調整	版アップ 作動試験・入力研修	植物マップ、湧水マップ web展開協力	花いっぱい活動紹介									
内部広報	マガジン	企画調整	4/19 校正												
	内部広報		ニュースレター検討	配布環境整備 ネタ出し											
	団体・エリア活動	各団体H18年度活動スケ ジュールの把握													

7.ルート運営活動実績

Clear Stream Scenic Byway

(1)平成 17 年度「先行活動期間の取組み」

～活動団体の声をルート計画へ～



活動を大きく2段階に分けました。

第一段階は、平成17年の先行活動期間です。

「とりあえずやってみよう！」「みんなの意見を聞いてみよう！」という基本姿勢のもとエリア毎、活動団体毎に既存の活動の中で、シーニックバイウェイを意識しながら活動を実施しました。実際には、多くの活動においてエリアを越えた連携、団体の枠を超えた協力体制が実現できました。

第二段階は、平成18年度前半の取組みです。

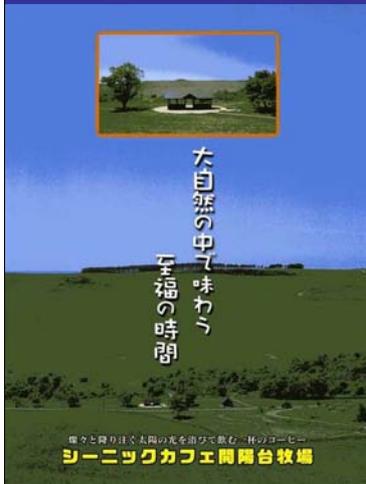
シーニックバイウェイの持ち味である広域連携の実現を意識しながら、各活動団体の実績を尊重し「お手伝いから始めよう」との方針もと、「阿寒・摩周・中標津リレー清掃」の実施、「シーニックカフェ」の実施などを行いました。また活動と平行し、ルート運営計画のブラッシュアップを行いました。

平成17年度先行活動期間 活動一覧

		エリア間(団体間)連携の有無	釧	阿	弟	中
6月	■エリア代表者会議		●	●	●	●
	□花いっぱい活動・道路清掃活動		●	●	●	●
8月	□阿寒湖温泉賑わいのまちづくり社会実験(8/1～10/16)			●		
	□シーニックカフェ開陽台牧場開催					●
	□なかまっぷ市場開催				●	●
9月	□じゃがいも伯爵祭り					●
	■意見交換会		●	●	●	●
	□第3回 釧路湿原 21世紀の道 ウォーキング		●			
10月	□阿寒摩周 キング・オブ・クリーンフォーク			●	●	●
	□景観診断					●
	■設立総会 設立記念シンポジウム		●	●	●	●
	□景観ウォッチングツアー				●	●
12月	■第1回エリア代表者連絡会議		●	●	●	●
	□道路意見交換会				●	
2月	■第1回作業グループ会議		●	●	●	●
	□情報広報勉強会		●	●	●	●
	□川湯温泉観光とまちづくり勉強会				●	●
	□景観まちづくり勉強会		●	●	●	●
	□観光振興勉強会		●	●	●	●
	□冬期景観ウォッチングツアー				●	
	□なかしべつ冬まつり					●
3月	■第2回エリア代表者連絡会議		●	●	●	●
	■第2回作業グループ会議		●	●	●	●
	□ルートマガジン創刊		●	●	●	●

釧: 釧路湿原エリア、阿: 阿寒湖エリア、弟: 弟子屈エリア、中: 中標津エリア
 ■: 会議等、□: 活動等

☆シーニックカフェ開陽台牧場☆



実施団体 中標津町商工会青年部
開催地 開陽台牧場内
実施日 平成17年8月2日(火)～8月7日(日)まで
営業時間/10:00～15:30

・シーニックバイウェイ活動の一環として観光客、地元の皆様に中標津町の魅力について紹介し景観を楽しんでもらえる様、開陽台の麓、開陽台牧場内にカフェを開設

・地元の皆様には、地元の観光ポイントの再認識、観光客には、また来てもらえるよう、中標津の景観をPR

・近隣地域でも例のない初の取り組みであり、様々な団体との協力により実現

参加者延べ来場者 600人



美しい感動と出会う道 シーニックバイウェイ北海道

☆シーニックカフェ開陽台牧場☆



☆釧路湿原21世紀の道ウォーキング☆

大人！子供！みんなはて湿原を歩いてみよう！！

ウォーキング

ファミリーコース 約15km
1周(健脚)コース 約30km

【開催日】2005 9/19日

【集合場所】イオン釧路昭和SCから温根内

【集合時間】8:00AM(スタート) 8:15(10分)

【参加料】500円(受付17:00前)

【お申し込み】お申し込みフォームにて
Y05-0032 釧路市栄町1-13 (月)ヒップ19内
釧路湿原21世紀の道ウォーキング実行委員会事務局
TEL:0154-22-7003 E-mail:paper@paper.ne.jp

【注】 釧路湿原21世紀の道ウォーキング実行委員会

コース	距離	参加料
Aコース	約15km	500円
Bコース	約30km	500円



〔実施団体〕 釧路湿原21世紀の道ウォーキング実行委員会

〔開催地〕 イオン釧路昭和SCから温根内

〔実施日〕 平成17年9月19日(月・祝日)

〔開催趣旨〕

- ・身近な自然である釧路湿原に親しんでもらう
- ・自然再生の普及のための行動計画として、保全や専門的な興味の薄い一般の人々に、近年ブームとなっているウォーキングを切り口に参加してもらう。

参加者

Aコースファミリーコース 約15km

Bコース1周(健脚)コース 約30km

参加人数:112名

参加人数:61名

合計人数:173名

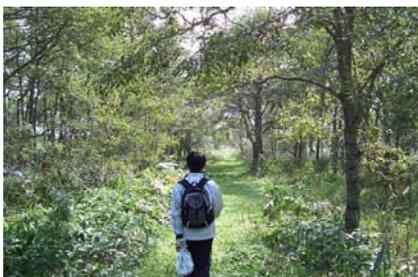
☆釧路湿原21世紀の道ウォーキング☆



ウォーキング指導および準備体操
諸注意では、「蜂」に気お付けよとの真剣な話も。



湿原に親しむ企画としてザリガニ釣りも実施



復路の旧鶴居軌道跡は、まさに緑のトンネル
車では入れないウォーキングならではの道



ゴール地点では湿原の湧水で淹れた
湿原コーヒーが振舞われた。

☆阿寒湖交通社会実験☆



実施主体 NPO法人 阿寒観光協会まちづくり推進機構
開催地 阿寒湖温泉
3.実施日 平成17年8月1日(月曜日)から平成17年10月16日(日曜日)
9時00分から17時00分まで

阿寒湖温泉街において、温泉街内の利便性や快適性、安全性を向上させ、ゆったりとくつろげる空間を創出し、温泉街を訪れる方々により多くの阿寒湖温泉の魅力に接して頂くことを目指し、その手法と実効性について検証するため実施。
参加者は阿寒湖温泉を訪れた観光客

取組み:・循環バスの運行 ・オープンカフェの実施

☆ベンチャーキッズinなかまっぷ市場☆



【実施団体】 主催:中標津商工会青年部
後援:中標津商工会・中標津教育委員会
【実施場所】 なかまっぷ市場会場(中標津商工会青年部主催事業)
【実施日時】 平成17年8月20日(土)10:00~16:00 28日(日)8:30~16:00
【実施内容】 中標津町内の小学生(6年生)対象で行う。
各学校単位の子供達で会社を設立して、会場(なかまっぷ市場)で販売し、収益の一部を寄付する。会社設立状況商品の企画

本活動では進行役を専門家に依頼するのではなく、研修を受けて活動団体が実施した。
トレーナーとしてプログラムの進行や指導に関わったメンバーからは、自分の所属する組織にもこのような考え方やプログラムを取り入れたいという意見も聞かれた。
また、子ども達への指導も、後継者というよりも後輩を育てるような距離感であった。このように地元の青年の少年が地域づくりや街興しのために交流できる場になったことも、成果のひとつである。

☆阿寒摩周キング・オブ・クリーンウォーク☆



実施団体 クリーンウォーク実行委員会

〔開催地〕

阿寒湖温泉(阿寒湖福祉センター)～オンネット

阿寒湖温泉(阿寒湖福祉センター)～弟子屈町(釧路圏摩周観光文化センター)

〔実施日〕

平成17年9月30日金曜日 前夜祭平成17年10月1日土曜日 クリーンウォーク

〔開催趣旨〕

「自然との共生」ってどういう意味？私達がこの大会でごみ拾いを通じ考えてほしいのは、「エコロジー」や「地球にやさしい」などの耳あたりのいい言葉だけを頭につめこむという事ではなく、阿寒国立公園の雄大な自然を守り、共に生き続けるための方法です。ごみを拾って歩く事で、自然の美しい景色、それらを守る大切さや厳しさは自然と共に生きる私たちの生活とも繋がっているという事を、参加された皆さんにも感じてもらえたらうれしいです。全国のみなさんの参加をお待ちしています。



☆阿寒摩周キング・オブ・クリーンウォーク☆



参加者	釧路市	弟子屈町	道内	道外	合計
10月1日	43	31	26	1	101
9月30日	12	0	25	2	39
全体	55	31	51	3	140

考察

- ・弟子屈中学校生徒の参加はあったが、若年層の参加者が少ない。
- ・ウォーキング中には入り込めない、法面の下、クマザサの中などに沢山のゴミがある。ゴミ拾いを主眼とするのであれば、道路断面形状に合ったゴミの拾い方、サポートなどに工夫が必要である。
- ・北見から通いで2日間参加した人が多くいた。観光振興の上から、より多くの人に地元で宿泊してもらえるようなバックアップ体制の構築が必要ではないか。
- ・歩道の無い箇所、間近を減速せずに通過するトラックなどが多数存在した。トラック協会等運輸関係団体への事前告知、協力の呼びかけを徹底する必要があるのではないか。
- ・弟子屈町内で道に迷った人がいた。分岐点などの誘導サインが曖昧であった。
- ・ルート代表連絡会議においても、評価が高く、事業の今後の発展について多くの意見が上がっている。今後ルートとしての展開方法、景観づくりに向けた取り組み、観光振興とのリンクなどが課題であろう。

☆景観ウォッチングツアー☆

弟子屈エリア、中標津エリア合同「景観ウォッチングツアー」 ～地元の魅力を地元のみなさんで案内しましょう！～

実施団体 弟子屈エリア「摩周湖世界遺産登録実行委員会」
中標津エリア「中標津町商工会青年部」

開催地 弟子屈エリア、中標津エリア

実施日 平成17年10月29日(28日懇親会)



概要内容:

- ・地元住民が選定
- ・案内する地域資源を、他地域の住民が外の目で評価することで、地域資源の有効活用や保全方法などの方向性を探ります。

目標

- ・観光ガイドボランティアの活動が、人を喜ばせる、たのしい活動であることを自ら経験し、ガイドに対する認識を深める場にする。
- ・地域資源の魅力を客観的に見直すことのできる場にする。
- ・地域資源の魅力を高めるための課題や問題点を把握できる場にする。
- ・活動団体同士の交流が生まれる場にする。

☆景観ウォッチングツアー☆



意見交換会で
抽出された
4つのポイント

- 情報の発信
- 連携による魅力づくり
- 継続的な地域資源の発掘
- 地域景観資源の魅力を高める連携活動

☆冬期景観ウォッチングツアー☆



☆冬期景観ウォッチングツアー☆

弟子屈エリア、中標津エリア合同「景観ウォッチングツアー」
～地元の魅力を地元のみなさんで案内しましょう！～

冬季地域資源の魅力を客観的に見直す
冬季地域資源の魅力を高めるための課題や問題点を把握

☆冬期景観ウォッチングツアー☆の実施

平成18年2月25日 土曜日 8:45集合 9:00出発 ～ 15:30終了

■調査の目的

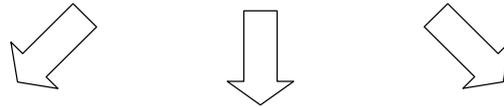
- ・冬季地域資源の魅力を客観的に見直すことのできる場にする。
- ・冬季地域資源の魅力を高めるための課題や問題点を把握できる場にする。
- ・スノートレッキングなどを実際に体験し、景観と観光についての魅力、問題点などを抽出する。
- ・地域資源の有効活用や保全方法などの方向性を探る。
- ・その他(同秋季)

☆ 勉強会 ☆

エリア代表者連絡会議(作業グループ)により各種勉強会を実施

■ 目標(勉強会共通)

- ・ルート運営計画を策定していく上での課題や問題点を解決する手がかりをつかむ
- ・全16のルート活動団体が、いずれかの勉強会に参加することにより参加意識の醸成、親睦を図る



景観・まちづくり勉強会

観光振興勉強会

情報・広報勉強会

花からはじまるまちづくり

広域連携の可能性

ルートマガジンHP編集会議



☆ 勉強会 ☆

参加団体の構成

エリア	団体名	景観・まちづくり	観光振興	情報・広報
弟子屈	摩周湖世界遺産登録実行委員会		○	
	弟子屈町商工会(青年部、女性部)	○		○
	川湯温泉観光協会		○	
	摩周湖観光協会		○	
中標津	弟子屈町自治会連合会	○		
	標茶町虹別市街町内会	○		
	中標津町商工会青年部	○	○	○
	中標津青年会議所			○
釧路湿原	日専連中標津青年部	○		
	中標津町商工会女性部	○		
	ボランティアネットワークチャレンジ隊		○	○
阿寒湖	阿寒町花いっぱい運動推進委員会	○		
	阿寒観光協会まちづくり推進機構	○	○	○
	阿寒湖畔連合町内会	○		
	クリーンウォーク実行委員会	○		
	阿寒ネイチャーセンター		○	

☆「花からはじまる地域づくり」勉強会☆



- 実施団体： 釧路湿原・阿寒・摩周ルート 作業グループ
- 開催地： 中標津町商工会「なかまつぶ」
- 実施日： 平成18年2月22日(水) 14:00～16:00
- 講師： 黒田正子氏(北海道グリーンコーディネーター)
- 目標(景観・まちづくり勉強会)
 - ・各団体活動の紹介を通じた相互理解
 - ・現在抱えている問題点の抽出
 - ・今後連携して取り組める事業などの項目出し
- 内容
 - ・釧路湿原・阿寒・摩周ルートにおいて、景観・まちづくり活動を展開する活動団体が一同に介し、活動紹介、今後の取り組みに関し意見交換などを行う
 - ・シーニックバイウェイ北海道「釧路湿原・阿寒・摩周ルート」に参加している団体のなかで、景観・まちづくりに関係する団体が集まり、大いに語り合いながら、花植え活動の現状の課題や将来の夢を共有し、連携・協力できることを模索します。

☆「広域連携の可能性」観光振興勉強会☆

- 実施団体： 釧路湿原・阿寒・摩周ルート 作業グループ
- 開催地： 阿寒観光協会2F会議室
- 実施日： 平成18年2月23日(木)14:00～17:00
- 講師： 有山忠男氏(株)ライヴ環境計画)



シーニックバイウェイ釧路湿原・阿寒・摩周ルートに参加している団体のなかで、観光に関する、または観光に関心がある団体が集まり、大いに語り合いながら、観光振興における現状の課題や問題点を共有しつつ、連携・協力によって地域観光を盛り上げるための取り組み方について考えます。

☆「第1回編集会議」情報広報勉強会☆

- 実施団体： 釧路湿原・阿寒・摩周ルート 作業グループ
- 開催地： dec釧路サテライト
- 実施日： 平成18年2月14日(水)時間:14:00～16:00
- 講師： 酒田浩之氏(ボランティアネットワークチャレンジ隊:活動団体)



講師役を、活動団体でもあり、ホームページ等への造詣の深い「ボランティアネットワークチャレンジ隊」酒田浩之氏にお願いし、勉強会形式による、実践的編集会議とした。

(2)平成 18 年度「実践的試行期間の取組み

平成17年度の先行活動期間を経て、具体化させた運営体制、活動方針、活動内容を試行することにより、ブラッシュアップすることを目的に、平成 18 年年度前半(指定ルート申請までの期間)を実践的試行期間と位置づけました。

平成18年度実践的試行期間 活動一覧

		エリア間(団体間)連携の有無	釧	阿	弟	中
4月	■エリア代表者会議		●	●	●	●
	■観光交流分科会		●	●	●	●
	■景観まちづくり分科会		●	●	●	●
	□阿寒・摩周・中標津リレー清掃(阿寒湖温泉)			●	●	
	□シーニックカフェ(中標津、弟子屈)オープン				●	●
	□ルートHP おすすめ絶景ポイント掲載開始		●	●	●	●
5月	■観光交流分科会		●	●	●	●
	■景観まちづくり分科会		●	●	●	●
	□阿寒・摩周・中標津リレー清掃(摩周)			●	●	●
	□ルートマガジン創刊		●	●	●	●
6月	■エリア代表者会議		●	●	●	●
	■情報広報分科会		●	●	●	●
	□観光案内施設調査		●	●	●	●
	□花いっぱい活動調査(各地)		●	●	●	●
	□阿寒・摩周・中標津リレー清掃(中標津)		●		●	●
	□中標津まちなかにぎわいフェスタ			●	●	●
	□ルートHP 名水・クリアストリーム紹介開始(先行紹介)				●	
	□ルートHP お花いっぱい情報紹介開始		●	●	●	●
7月	■情報広報分科会		●	●	●	●
	■景観まちづくり分科会		●	●	●	●
	■観光交流分科会		●	●	●	●
	■エリア代表者連絡会議		●	●	●	●
	■行政連絡担当者会議		●	●	●	●
	□シーニックカフェ開陽台牧場					●
	□推進協議会審査委員長視察		●	●	●	●
	■行政担当者連絡会議への参加		●	●	●	●
8月	■エリア代表者連絡会議		●	●	●	●
	■第2回総会		●	●	●	●

釧: 釧路湿原エリア、阿: 阿寒湖エリア、弟: 弟子屈エリア、中: 中標津エリア

■: 会議等、□: 活動等

☆阿寒・摩周・中標津リレー清掃☆

- ①せっかくルートができた事だし、一斉清掃はできないだろうか？
- ②清掃活動といえば、雪解け後の春だね！
- ③いやいや、その時期は既存の清掃活動で目一杯だよ！！
- ④それじゃ、シーニック活動のPRも兼ねて参加しようか？
- ⑤よしやろう！

- 4/27 阿寒湖温泉 幸福の森商店街清掃活動
(連合町内会主催)
- 5/27 摩周クリーンウォーク2006
(弟子屈町主催)
- 6/04 中標津清掃奉仕活動
(中標津町主催)



主催者もばらばら、形式もばらばら、
まずは、「お手伝い」を目的に、一参加者として活動しよう！
シーニック活動を少しでも知ってもらうために、「のぼり」と「ジャンパー」をつくろう！
摩周クリーンウォークでは今後の活動のヒントを得るためにアンケート調査を実施しよう。

☆阿寒・摩周・中標津リレー清掃☆

- 4/27 阿寒湖温泉 幸福の森商店街清掃活 (連合町内会主催)



活動エリアの枠を超え、相互に参加(お手伝い)することにより、地域景観の美化はもとより、個々の交流と親睦をはかりましょう！

☆阿寒・摩周・中標津リレー清掃☆

■5/27 摩周クリーンウォーク2006

(弟子屈町主催)



活動エリアの枠を超え、相互に参加(お手伝い)することにより、地域景観の美化はもとより、個々の交流と親睦をはかりましょう!

☆阿寒・摩周・中標津リレー清掃☆

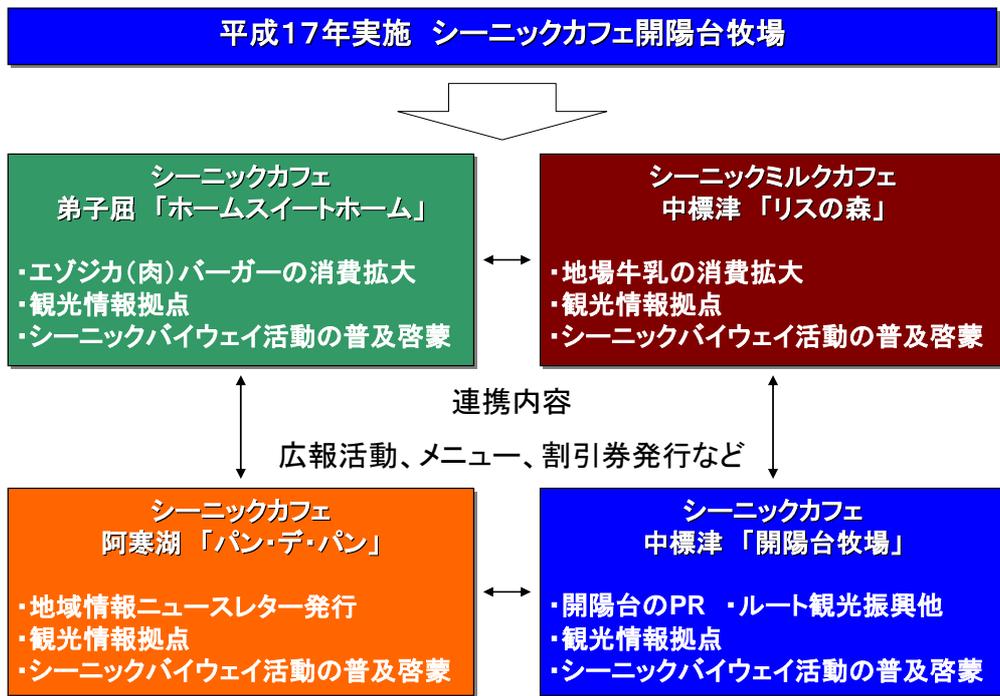
■6/04 中標津清掃奉仕活動

(中標津町主催)



活動エリアの枠を超え、相互に参加(お手伝い)することにより、地域景観の美化はもとより、個々の交流と親睦をはかりましょう!

☆シーニックカフェ☆



☆シーニックカフェ☆

**シーニックミルクカフェ
中標津「リスの森」**



ルートマガジンを読む家族連れ



情報発信をすることにより、店舗スタッフとお客様の交流(会話)が増えている。

シーニック情報、観光情報の発信



☆シーニックカフェ☆

シーニックカフェ
弟子屈「ホームスイートホーム」



ルートのぼり



カフェの大人気
メニュー
エゾシカバーガー



カフェ用オリジナルカップの製作



隣接地に足湯を整備

☆シーニックカフェ☆

シーニックカフェ
阿寒湖「パン・デ・パン」

計画中(平成18年6月現在未実施)



阿寒湖エリアシーニックカフェとして実施決定

- ・地域情報満載のニュースレターの発行
- ・地元農産物を使ったジャムの使用など地産地消の実践

平成18年6月現在



☆シーニックカフェ☆

シーニックカフェ 中標津「開陽台牧場」

営業期間：7月22日(土)～30日(日)
営業時間：12時～16時半
場 所：開陽台牧場内



また逢えるね 大自然の中の カフェテラス
～しばし立ち止まり、のんびりした時間の中で 美味しい空気と、美味しいコーヒーをお楽しみ下さい～

☆花いっぱい活動調査(お手伝い+ヒアリング) ☆

中標津「花どおり会」

この状況で調査は無理です。
まずは、皆さんと一緒に活動あるのみ。
早起きして、体使って初めて話をしてもらえる、
そんな感じです。

活動あつての連携ですね！

土いじりは楽しいよ！
後日改めてヒアリングに行ってきます。



☆花いっぱい活動調査(お手伝い+ヒアリング)☆

弟子屈「商工会青年部+女性部」



町の入り口を飾る国道内の花壇
弟子屈町花いっぱいフラワーロード
の重要ポイントです。

お母さん世代(女性部)の皆さんと
の交流は超重要！でもコワイ。

「あんたー、こっち来なさい」
「ハイ」



☆名水マップ作成☆



「水」は重要なテーマの一つです。
摩周湖の伏流水をはじめ、ルート内には知る人ぞ知る湧水ポイントが沢山あります。
ドライブ観光においても、名水めぐりは可能性大。
また、地域づくりの視点からも地域資源の再発見、再認識という点で意義があるのではないしょうか？

私たちは、「地域づくり」「観光振興」「景観づくり」の視点から、湧水、きれいな水辺など、豊かな水資源を紹介していきます。

→中長期計画

→平成18年は3箇所程度の試行的先行紹介を実施

☆仮)懐かシーニックパネル展☆

温故知新

地域の歴史を振り返り、先人たちの暮らしに接することにより、地域の未来を考えたい。

ルート内の巡回展にすることにより、シーニック活動のPR、啓蒙を行いたい。



昔の写真を所有する個人、団体などに協力を呼びかけ、

平成18年秋
開催予定

展示許可をいただいた写真をパネル化することにより、長期的ニーズに対応



☆観光客の立場にたった情報拠点の整備☆

- ・観光における広域連携に向けた観光案内現況の把握。
- ・相手(仲間)を知って、分科会として効果的な連携の策を図る。

平成18年度 春 観光案内施設現況調査実施
平成18年度 中 既存施設の連携に関する検討
継続的協議機関の設置
→観光客の立場に立った情報拠点の整備



☆http://sbw.web-p.jp/☆



・平成18年3月にルートホームページを開設

・CGI形式を採用、情報広報分科会メンバーによる共同構築型
 ・メインターゲットは観光客

・きれいな風景写真、一般的な観光情報は既存の素晴らしいものがたくさんあります。
 我々にしか出来ない、**地域に根差した情報、地域の今を伝える情報、そこに介在する人の情報**を提供することを目指しています。

☆http://sbw.web-p.jp/☆



シーニックカフェ開陽台牧場開催決定！

2006/07/06 木 09:28 | =>saito
 今年も、ライダ―の聖地「中標津開陽台牧場」で地元商工会青年部による越前放系統象カフェの開催が決定！

中標津空港に着いたら、まずカフェに直行！
 ルートマガジン、観光インフォをゲット。
 スタッフの地元ロコミ情報もしっかり仕入れ、「憧れ」を「大好き」に変える遠東の旅へ出発！

シーニックCafe日記で最新情報を随時公開していきます。

■お知らせ&NEWS | comments (0) | trackbacks (0)

7月1日中標津に行かなくちゃ！

2006/06/28 木 19:02 | =>saito
 7月1日土曜日 AM10:00~PM0:00
 中標津経済センター「なまかまぶり」で「第1回 まちなかにぎわいフェスタ」が開催されます。詳しくは中標津エリアページにGO!

■お知らせ&NEWS | comments (0) | trackbacks (0)

Search This Blog

Search!

Categories

- お知らせ&NEWS (31)
- 今月の看板娘 (1)
- 観光スポット“本生”情報 (1)
- おすすめ絶景ポイント (10)
- 必見、湧き水情報 (1)
- お花いっぱい情報 (1)
- ルートクイズこれなーんだ? (5)
- シーニックCafe日記 (4)
- チャット会議室 (1)

Calendar

<<	2006/07	>>				
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	2	3	4	5	6	7
						8



地元ネタ満載!! 情報リンク集

- | | |
|--|---|
| カテゴリー一覧 | Main MENU |
| <ul style="list-style-type: none"> シーニックバイウェイ関連情報 釧路湿原エリア情報 阿寒エリア情報 弟子屈エリア情報 中標津エリア情報 北海道内の情報 その他 | <ul style="list-style-type: none"> HOMEに戻る 最新サイト 人気ランキング |
| <ul style="list-style-type: none"> 阿寒エリア情報 中標津エリア情報 北海道内の情報 その他 | <p>Information</p> <p>キーワード検索が可能です。
 現在 14 件 登録されています。</p> <p>LOGIN</p> |



地元ネタ満載!! 情報リンク集

- トップ 阿寒湿原エリア情報
- 【阿寒湿原エリア情報 阿寒湿原エリア情報】
 LINK マニアの域を超えたマリモ人のサイト(マリモ...その愛...)
 - 【阿寒湿原エリア情報 阿寒湿原エリア情報】
 LINK 阿寒からタチウオがはばたく(阿寒オーストリッチ農場様)
 - 【阿寒湿原エリア情報 阿寒湿原エリア情報】
 LINK 「ブルクイズ」をどうぞ(阿寒国際ツルセンター)
 - 【阿寒湿原エリア情報 阿寒湿原エリア情報】
 LINK ゆったりバスの旅で(阿寒バス株式会社)

☆ルートマガジン 今後の展開☆



- ・平成18年度は、「春夏版」「秋冬版」を発行します。
- ・ルートマガジンとルートHPの情報をリンクさせ、双方向の情報提供を行います。
- ・地元密着系、顔の見える情報の蓄積をはかり、ある程度の情報量が集まった時点で冊子などへの展開を検討します。

☆行政担当者連絡会議への参加☆



平成18年7月7日
行政担当者連絡会議に参加
ルート活動状況の報告、意見交換などを行った。